



ほうき 議会だより

第46号

2016年7月25日



七夕飾り交流会 (ふたば保育所のまつ組・たけ組の子どもたちと作業所のみなさん)

おもな内容

- 平成28年度一般会計補正予算…………… 2ページ
- 全員協議会…………… 3ページ
- 一般質問…………… 4～11ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 12ページ

人の動き

| | 平成28年6月30日現在 | 前年同月比 |
|-----|--------------|-------|
| 人口 | 11,331人 | △39人 |
| (男) | 5,424人 | △15人 |
| (女) | 5,907人 | △24人 |
| 世帯数 | 3,814世帯 | 23世帯 |

――平成28年度 伯耆町一般会計補正予算（第1号）――

3千万円を増額補正

補正後 総額76億5千4百万円に（0.39%の増）

6月定例会を6月10日から17日まで開会。
平成28年度一般会計補正予算などを原案可決、専決処分議案を承認。

**平成28年度
一般会計補正予算
（第1号）
（主要事業の概要）**

歳入

- ・ 歳支出金
- (1) 園芸産地活力推進事業 費補助金 235万円
- (2) 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 258万円
- (3) 和牛増頭対策推進事業費補助金 150万円
- ・ 諸収入
- コミュニティ助成金 340万円

歳出

- (1) コミュニティ助成事業 栃原、岩屋谷集落の伝統用備品等に助成。 340万円
- (2) 国交付金を受け大山リハビリテーション病院が整備する地域高齢者の交流の場の補助 880万円
- (3) JA溝口集荷所に白ネギミニ選果場を整備する費用の一部助成。 353万円
- (4) 鳥取型低コスト施設園芸等推進事業 269万円
- (5) 和牛増頭対策促進事業 担い手農家の牛舎整備費の助成 225万円
- (6) 大山山麓地域の日本遺産認定記念事業への負担金 66万円
- (7) 日光公民館事務室を旧日光小学校1Fに移転する経費 89万円
- (8) 水田における園芸作物生産に必要な排水対策事業 207万円
- (9) 大型機械導入事業 小野農事実行組合にフレールモア（除草・下草刈用機械）1台導入への助成。 総事業費46万円（内、町助成費9万円）

**岸本体育館大規模
改修工事請負契約
の締結**

契約金額 1億2679万円
契約相手 株式会社ア
完成予定 平成28年11月30日

**コミュニティ助成事業で栃原・岩屋谷に
大山リハビリテーション病院に高齢者交流の場の整備補助
伝統用備品補助**



和牛増頭対策



白ネギ単独調整選別機2台導入（溝口集荷所・宮原）

みんなが知りたい

全員協議会

平成28年6月定例会関連の全員協議会は、6月2日及び16日に開催された。

- ① 間委託する検討を行う。
長寿命化のための施設改修
平成29年度設計等
- ② 平成30年度から改修等

主な協議事項

伯耆町耐震改修促進計画の修正

(説明)

- ① 平成27年度末までの計画期間を平成32年度末まで延長。
耐震化率の目標を平成27年度末86%から89%に変更(住宅)
学校給食センターの方向性(説明)
- ② 調理部門を平成29年度から民

伯耆町空家等対策計画(説明)

○計画策定の趣旨

地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす適切な管理が行われていない危険な空き家等について、法に基づく措置の運用と補助金制度などの対策の実施を総合的に推進し、公共福祉の増進と地域振興に寄与する。

○計画の策定体制

意見募集を行い、地域住民や学識経験者などで構成される「伯耆町空家等対策協議会」で内容を検討。

○計画の期間

平成28年度から平成32年度までの5年間。必要に応じて見直し。



適切な管理が行われず樹木に覆われる危険家屋

副町長に阿部泰氏 4月1日就任



副町長に阿部 泰氏

4月1日就任

副町長に阿部泰氏(61歳・古市)が、この4月1日に就任。
この6月定例会(休憩時)に就任の挨拶をし、町政に尽力する旨を表明した。

岸本地域小学校統合の進め方に係る報告

6月2日、教育委員会から、小学校統合に関する調査特別委員会に、住民検討会の内容が報告された。

その内容は、

- 1. 岸本地域においては、平成30年以降当面の間、小学校統合は行わない。
- 2. 今後、多数の保護者、地区住民からの学校統合の要望があった時点で統合を検討する。

みなさんからの請願・陳情は次のとおりとなりました

6月定例会で審査した請願・陳情の委員会、本会議の採決結果

| 件名 | 提出者 | 付託委員会(採決結果) | 本会議採決結果 |
|--------------------------------------|---|-------------------------|---------------|
| 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 | 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁 | 総務経済 常任委員会 (不採択) | 不採択 |
| 人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止する法律の制定を求める陳情書 | 在日本国民団鳥取県地方本部 団長 薛 幸夫 | 教育民生 常任委員会 (趣旨採択) | 趣旨採択 |
| 地方財政の充実・強化を求める陳情 | 自治労鳥取県本部 執行委員長 西村裕生 伯耆町職員労働組合 執行委員長 白根史雄 | 総務経済 常任委員会 (採択) | 採択 (意見書提出) |

一般質問

町政を問う！

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

7人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

| ページ | 質問事項 | 質問議員 |
|-----|--|---|
| 5 | 1. プレミアム商品券の検証結果について 2. 赤ちゃんの聴覚検査の公費助成について 他 | 乾 裕  |
| 6 | 1. ゼロベースの見直しは | 渡部 勇  |
| 7 | 1. 県道大滝・白水線の改修予定について 2. 旧日光小学校の今後について 他 | 杉原 良仁  |
| 8 | 1. マイナンバー制度について 2. 中学校における部活動の現状と今後について 他 | 篠原 天  |
| 9 | 1. 明るく親しみやすい役場づくり | 杉本 大介  |
| 10 | 1. 熊本地震災害対応 2. 安保関連法施行 他 | 幅田千富美  |
| 11 | 1. 選挙の期日前投票に「ワゴン車巡回による移動投票所」の新設を！ 2. 大災害時対応の緊急ヘリポート日野川左岸に新設を！ 他 | 勝部 俊徳  |

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます

町政を問う

だんだんプレミアム商品券の検証結果は

町長 本町初の取り組みで評価する声もあった

購入申込書 この購入申込書を記入し販売場所に持参してください。

だんだん **プレミアム付** **商品券**

1冊10,000円で12,000円分のお買い物ができる、2,000円お得!!!

プレミアム商品券利用期間
平成27年
6月1日(月)～10月31日(土) ¥1,000

プレミアム商品券購入価格
1冊12,000円分の贈り⇒10,000円

購入方法 「商品券購入申込書」に必要事項を記入していただき、下記発売日時・場所でお買い求めください。但し、商品券が売り切れ次第、販売終了となります。

■使用区域 伯耆町内(町内指定店舗)

■販売場所 完売次第終了(予約はできません)

6月1日(月)・2日(火) 10:00～15:00
【第1会場】 伯耆町農村環境改善センター2階会議室
【第2会場】 伯耆町民衆口体育館

※6月3日(水)以降 伯耆町商工会館(JR岸本駅)で販売 10:00～16:00 (土・日・祭日除く)

■購入対象 伯耆町民限定 [この商品券購入申込書がないと購入できません]

■購入限度 1人5冊 50,000円(1世帯4人20万円まで)

■お問合せ 伯耆町商工会 鳥取県西伯耆町伯耆町92-2
TEL 0859-68-2174

商品券購入申込書

※購入者氏名、欄数、金額は必ずお書きください。(購入申込日:平成27年 月 日)

| No. | 購入者氏名 | 冊 | 購入金額(円)(1冊12,000円) | 購入商品券番号(記入しない) |
|-----|-------|---|--------------------|----------------|
| | | | 0,000.00 | ～ |
| | | | 0,000.00 | ～ |
| | | | 0,000.00 | ～ |
| | | | 0,000.00 | ～ |

購入日 平成 年 月 日 購入者
住 所 伯耆町 電話番号 () -



プレミアム付き商品券の実施状況と効果について

乾 昨年度実施した商品券の効果は、**商工観光課長** 発行総額は9千万円。1千円×12枚つづりを7千500冊発行。発売日は平成27年6月1日で同月19日には完売となった。利用実績は8千986万1千円。利用率は99.8%。



乾 裕

消費喚起効果の調査方は、購入者全員にアンケート調査表を配布。その回答から効果を分析。配布数1千705件。有効回答数135件。一世帯当たりの商品券で支払った平均額は、5万1千815円。これを分母にし、普段以上の買い物商品券で支払った平均額は、1万3千608円。これに追加して現金で支払った平均額は9千4

町長 日本消防協会が主体者 基礎自治体として応援していきたい

消防団応援の店の拡大は

4円。合計で2万2千652円。これを分子として見ると43.7%の消費喚起効果があった。

消防団応援の店について

本町では岸本温泉ゆうあいパルにおいて団員の特典としてタオルのプレゼントを実施しているが、さらに拡大していくことはないか。

町長 制度の成り立ちは日本消防協会が主体的に行っている。昨年6月時点では全国427の消防団に対して約8千店舗が実施しており、消防庁などはこうした動きを歓迎している。消防団については日頃から仕事を持ちながら地域の安心・安全のためにボランティア的に頑張っている。基礎自治体としてこの取り組みを応援したい。

町長 交付税措置なので基本的に実施していくことになる

赤ちゃんの聴覚検査の公費助成は

点では全国427の消防団に対して約8千店舗が実施しており、消防庁などはこうした動きを歓迎している。消防団については日頃から仕事を持ちながら地域の安心・安全のためにボランティア的に頑張っている。基礎自治体としてこの取り組みを応援したい。

赤ちゃんの聴覚検査の公費助成について

乾 厚労省は、3月29日新生児聴覚検査の実施に向けた取り組みの促進についての通知を出した。全自治体に公費助成の導入など受診を促す内容となっている。

これを受けて鳥取市をはじめ、若美・若桜・八頭・智頭の4町が新年度より、新規事業として実施されている。本町でも

健康対策課長 平成27年1月1日から12月31日までに出産した新生児は55人

町長 実施している自治体の仕組みを見たうえで、行政の技術的な話を含めて検討していきたい。

乾 聴覚検査の実施率はとってないと言ったことだがこれに関連して平成27年度の新生児の出生数は何人か。

町長 4月13日付で県から町に対して通知がなされており、新年度予算に間に合っていない。

今後、補正予算または、制度改正で実施方法を検討していく。

もう少し市町村の次年度現年の予算編成に間に合う形であれば、対応できていたと思う。

町政を問う

主要事業について ゼロベースでの見直しは？



渡部 勇

限られた財源の中、指定管理者制度は？

町長 それぞれ、メリットがあり、デメリットもある

渡部 ゆうあいパル事業は町直営となり見直しがされてきた。その後は指定管理にする予定は。

町長 直営になり2年、もう少し時間があるので。将来的には行政としての確な判断をする。

渡部 町内、2つのグラウンドゴルフ場があり、一方は有料、もう一方は無料である。その理由は。

分庁総合窓口課長 B & Gは社会体育施設の一部として管理されている。一方、ささふく水辺公園は多目的河川公園である。

公園の一部として、グラウンドゴルフ場があり、無料としている。

渡部 榎水高原スキー場の稼働日数が少ない。温暖化で雪不足が続くようであれば2本あるリフト

を1本にする考えは。

町長 就任直後から、どういう手法があるかと。スキー人口が減少している中、何回も繰り返しながら案を出し分析したうえで現在に至っている。

渡部 町内に類似した大山ガートンプレイスと大山望がある。この施設の指定管理者を一本化する考えは。

町長 近年、それぞれの施設の特徴がより出てきている。

伯耆町の住宅耐震化の現状は

渡部 熊本地震の発生を受け、住宅の耐震診断に関する問い合わせは。

総務課長 今のところ問い合わせはない。

渡部 町内の木造住宅で耐震性が不十分なものは

約何戸あるか。

総務課長 現在、耐震性が不十分な木造住宅は約1200戸ある。

渡部 伯耆町の現在ある住宅耐震事業は、説明と今後の取り組みは。

総務課長 国・県・町が行う住宅耐震化等の支援で、直接的に住民の方を対象とするものは、耐震診断や改修の窓口の設置などがある。



伯耆町総合スポーツ公園グラウンドゴルフ場

放課後子ども教室の充実として特別課外教室の開設を

渡部 放課後児童クラブと放課後子ども教室の違いは。

教育長 放課後児童クラブと放課後子ども教室は連携した取り組みをしている。

教育長 主として4点の違いがある。

- 1、児童クラブは福祉の所管。子ども教室は教育委員会である。
- 2、児童クラブの実施日数は250日以上。子ども教室は120日程度。
- 3、児童クラブは放課後の生活の場を提供し、保育が中心。子ども教室は多様な活動を提供している。
- 4、児童クラブは必ず保

護者の迎いで、子ども教室は徒歩・スクールバスで帰る。

渡部 特別課外教室を小学生が受講すれば学力の向上に繋がる。教える方は、教育推進リーダーが教える。そうなればやりがいの場や生涯学習の場の構築ができる。

教育長 学力の向上については責任をもって、学校教育の中で取り組むことが必要である。



放課後子ども教室 (岸本小学校)

町政を問う

大滝、白水線 早期改修を！

地域整備課長 白水地内は8月に改修完了



県道大滝白水線落石現場（柘原）

町長 応急対策としての危険の把握については、機動的に行ってもらったが本件は時間がかかる。3か所共落石による支障があり、地元にとって不安材料である。応急対策については迅速に対応したいと考えている。

杉原 一般県道大滝白水線は、白水地内、大坂地内、大滝（柘原）地内の3か所でも片側一車線のみが通行可能となっている。改修予定を伺う。



杉原 良仁

町長 落石の折、工事中の橋の強度等を県と共に調査を行い問題はなかった。現在の位置は、県道の

杉原 工事中の柘原籠原線角盤橋に、今年3月の落石があつたが、幸いその日は工事をしていなかったため、人身事故はなかったが、この位置は再検討されたか。

町長 原因究明も含め時間がかかるだろうと考えている。安全第一で対応していく。

地域整備課長 白水地内は、県が対策工事を行っており今年の8月を目前に片側通行を解消する予定。大坂、大滝の落石箇所は、地形等を勘案して今年度中に改修方法等を県で検討し、対策工事は来年度以降の実施になる。



日光公民館の事務室が移転する旧日光小学校

杉原 日光公民館の一部を今年3月末で廃校となつた旧日光小学校に置く

町長 旧日光小学校は公民館か体育館等に企業誘致はできないか

接続、下流の下水処理施設等を勘案して設計しており、落石の対応をとるといのが県の基本姿勢である。

杉原 伯耆町に來ているベトナム人研修生に日本語授業、生活習慣、通訳

シーセフの補助金はふるさと納税額に左右される

町長 日光公民館の事務室を旧日光小学校に移転することは、日光地域で検討してきており、地元の方々の合意を得ている。それ以上のことは、今後の検討、課題と考える。

町長 日光公民館の事務室を旧日光小学校に移転することは、日光地域で検討してきており、地元の方々の合意を得ている。それ以上のことは、今後の検討、課題と考える。

というところで、今後どうするのか伺う。また、昨年10月、総務経済常任委員会では兵庫県養父市を視察。そこでは、廃校となつた小学校の体育館に企業を誘致して「完全人工光型植物工場」を稼働させていた。その報告は12月議会で行っているが、そのような考えはないか。

支援等をしてもらうため、昨年度から公益社団法人シーセフに補助金を交付しているが、効果を伺う。また、これの原資はふるさと納税とのこと。その額は、いくらか。

町長 昨年実施したことなので効果発表ということころまではできない。

町長 決算の際には、詳しい説明ができると思う。

企画課長 本事業は、シーセフが活動主体となり、これを支援する方々がふるさと納税を行っている。伯耆町のベトナム人は、昨年12人が研修生に。ベトナム語、英語に訳した本を配ったり、日本での生活をサポートしている。このたびのふるさと納税は、約480万円です。シーセフに対する補助金は350万円である。

町長 公民館の事務室移転は地元合意を得ている

町長 決算の際には詳しい説明ができると思う

町政を問う

マイナンバー制度運用スタート！ 個人情報保護の取り組みは？



篠原 天

マイナンバー制度への対応、現状と今後は

篠原 『通知カード』の発送及び『個人番号カード』の申請状況は。

住民課長 通知カードの発送は9割以上完了。個人番号カードの申請件数は五月末で954件、申請率84%である。

篠原 個人番号カードの申請が低調だが、今後の対応は。

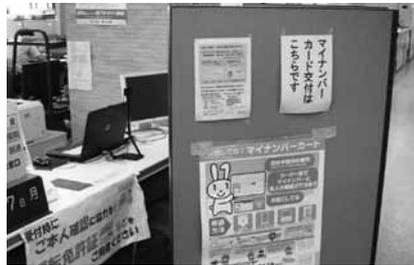
住民課長 個人番号カード保有によるメリットを中心に、町報・CATV等で、啓発活動を実施、申請率アップをはかる。

篠原 情報連携後、本町で特定個人情報に触れる職員数及びアクセス可能な端末の台数は。

住民課長 職員数は56名、直接システム操作に

マイナンバー制度の本格運用を前に、
わが町の準備状況は？

町長 まだ若干の戸惑いはあるが、基礎自治体としてしっかりと準備し対応する



個人番号カード交付窓口（本庁舎）

携わるのは34名。また、アクセス可能な端末は28台となる見込み。

篠原 今後、庁舎内での情報管理の具体的方策は。

企画課長 専用回線使用による一般インターネット回線との接続回避、端末利用時のID、パスワードの設定、情報管理事務部門への入室制限のほか、引き続き職員への教育研修を徹底し、万全の情報管理に努める。

中学校における部活動の現状と今後について

篠原 まず、中学校における部活動について、生徒に十分な選択肢が用意されているか。

教育長 少子化に伴い、団体競技を中心に、部活動の維持が困難となっているが、今後も、一定の選択肢を維持することは必要と考える。

教育次長 岸本中では、生徒数205名に対し、運動系8、文化系2合計10の選択肢、溝口中では、生徒数81名に対し、運動系6、文化系2合計8の選択肢がそれぞれ用意されている。

篠原 これ以外に期間限定で、駅伝・水泳・スキーなどの選択肢がある。



駅伝部練習風景（溝口中学校）

員数も減少する。顧問の先生の負担軽減と、多様なニーズへの対応として、今後、顧問に代わる外部指導者の導入や、学校における部活動と町内各種団体の活動とのすみ分けを明確化する考えは。

教育長 少子化の流れの中で、この課題については、国においても議論が進んでおり、顧問に代わる『部活動支援員』の導入が検討されている。

観光振興の今後の具体的取組について

ただ、部活動はあくまでも学校教育の一環であり、この基本理念を念頭に、町内団体との意見交換の場などで、引き続きより実態に即した部活動のあり方を考えていきたい。

篠原 『観光地域おこし協力隊』募集の応募状況及び優秀な人材確保のため、国の企画する地方自治体と移住・定住・協力隊参加希望者との交流イベントへの町職員派遣を検討できないか。

町長 現時点で応募者はない。交流イベントへの参加は、西部圏域共同で参加するなどの方法で、今年度の事業として取り組むことは可能であり、検討する。

町政を問う

明るく親しみやすい役場づくり



杉本 大介

接遇（もてなし・接客スキル）向上の指導

杉本 庁舎は住民にとって町内でのあらゆるお困りごと等の相談窓口であり、住民が相談しやすい環境を作るべき。

本町では役場職員に対し、接遇向上の指導はどのように行なっているか。

町長 こういう質問をいただくということ自体を、職員一同としても日頃の自分たちの対応を見つめ直す一つの機会として捉えるべきだろう。

公務員は全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではないという基本的な立場があり、堅苦しくなってしまうくらいがあるが、まずは公務員に限らず、社会人としてのマナー向上にどう努めるかという

接遇向上の指導はどのように行なっているか

町長 こういう質問は日頃の自分たちの対応を見つめ直す、ひとつの機会

ことになる。

総務課長 職員採用段階で、町が独自に接遇指導を行なっている。

以降は、各職員に応じた接遇研修を受講して、その他の研修は、職員が希望すれば受講できる環境にしている。

平成23年には町独自で外部講師を招き、接遇に関する研修を実施したこともある。改めて、そういった研修を行う必要があると思っている。

杉本 町独自で「接遇マニュアル」といったものを作り、定期的に研修する機会を設ける考えは。

総務課長 本町では現在作成はしていない。

これまで、職場のマナー、接遇、電話対応のマナーに関する資料を配布してきたが、配布に終わ

っているところが、今後の反省点。

インターネット上で現在、先進的なマニュアル等が非常に入手しやすくなっている。

そういった接遇マニュアル等を調査し、良いものは活用していきたい。



近隣町村の先進的接遇マニュアル

行なっているか

庁舎内にBGMを流してみているか

杉本 来庁される方だけでなく、職務中の職員の間を和らげ、お互いに親しみやすくなる効果を期待し、庁舎内にクラシック音楽等のBGMを流してみているか。

町長 BGMには、いくつか期待される面があることは、提案の通り。

ただ、合併当初に若干施行されたが、それが今続いているかということからは、どういった評判だったのかというのを理解いた

だきたい。音楽は感受性に関することで、一つで全てを満足させることは難しいと思う。

今回の提案により職場の労働衛生委員会の議題

として、印象を聞いてみる。

空間作りとして、音楽ばかりではなく、匂いや照明を使われているところもあり、業種によって対応が違う。

いろいろな方が訪れる役場という場所、公務というカテゴリーの中では適切か、不快感を住民の方に与えずにクリアしていく手順は、よくよく検討が必要。



伯耆町役場本庁舎ロビー

町政を問う

町民の安全を守る責任は行政！ 減災の対応を！ ～防災マップの再検討は～



国内の活断層（国土地理院）

幅田 震度7が2回も連続した九州・熊本地震は、甚大な被害をもたらした。16年前、西部地震で、全国から支援を受けた町として、どんな支援をされるのか、耐震改修の促進や防災計画の見直しにこの教訓を生かされるか。島根原発の再稼働など



幅田千富美

あり得ないのではないかと。町長 先般、県との協議で、7月に保健師派遣の要請があった。災害のとき、トップの責任は重大。耐震改修支援策を県で検討中。防災計画は千年に一度の浸水被害を想定し8月に協議の予定。島根原発は国において決め

九州・熊本地震の支援と、町の耐震化促進・防災計画の見直しは
町長
耐震化促進・防災計画の見直しを
検討中である

町長 昨年末、国が試算したメリット・デメリットがあるが、農業被害額への支援策など今後協議があるし、ワインなど安く手に入る。

幅田 政府の批准強行姿勢をどう認識されているか。わが町の農業・地域経済・町民生活への影響は。

TPP 批准に 反対！

町長 これまで申し上げた通り、国政選挙の争点になるでしょう。

幅田 3月29日に施行された同法は、憲法違反との指摘もあるが、町民にどんな影響を与えるか。

安全保障関連法について

られること。



こしき保育所

保育士処遇改善・職員配置基準引き上げを
幅田 保育、幼児保育、子育て支援に責任を持つためには、保育士処遇改善と職員配置基準の引き上げは「緊急の課題」。町は小規模保育園で運営を業者委託の計画、保育士確保に苦慮している。安定財源確保を含め、国

に改善を求めないか。
町長 町では処遇改善に鋭意努力している。緊急時には、規制緩和してでも、受け入れることが必要と考える。
※子どもの貧困対策、就学援助制度拡充と町独自の奨学金制度創設についても質問しました。

町政を問う

選挙の期日前投票に「ワゴン車巡回による移動投票所」の新設を！ 高齢化などへの利便性の向上対策

選挙管理委員会 データをとりながら調査し、検討してゆきたい



大山PA（上り線から下り線を望む）

勝部 大山PAを活用した「因伯牛」や「小野小町」などの本町のPR施設の新設を検討しないか。
町長 大山PAは、ネクスコ西日本の事情もあり、これまでの施設計画も見送った。
今後は、ネクスコ西日本もどのようなことができるか相談するところから始めることとなる。



勝部 俊徳

大山PAを活用した因伯牛、小野小町などのPR施設を検討しないか
町長 ネクスコ西日本の事情もあり、どのようなことができるのかは課題

勝部 選挙において、「ワゴン車などで移動式の期日前投票所」の導入をしないか。
これは、過疎化、高齢化などの観点からである。
選挙管理委員長 この6月19日から改正公職選挙法施行。本町での導入は、データをとりながら調査し、検討してゆきたい。
勝部 選挙での期日前投票時間の開始を30分繰り上げ、通勤者への利便性を確保しないか。
（現行）8時30分↓（改定）8時00分に
選挙管理委員長 今回の参議院選挙は、このうち土日が2回あるため、提案のあった期日前投票時間の30分の繰り上げは、現在のところ考えていない。



ヘリポート使用見込地（総合スポーツ公園）

勝部 人口が集中している幡郷地区に期日前投票所を1カ所増設しないか
具体的には、町健康福祉センターに増設し、利便性の確保を投票率の向上を図る。
選挙管理委員長 この増設には経費もかかるので現在は、考えていない。
勝部 経費増は、投票システムのバーコード化による人件費削減で対応すれば、可能と考える。

大災害時対応の緊急ヘリポート 日野川左岸に新設を！

町長 ドクターヘリ・救急ヘリの適地の検討は大切

選挙管理委員長 今後、検討する。

勝部 大災害時対応への緊急ヘリポートを日野川左岸に整備をしないか。
百メートル四方の面積で、芝生化、舗装化したヘリポート整備を。

町長 ヘリポートは、本町で10カ所ある。
日野川左岸には、溝口エリアに1カ所だけ。

県が広域防災拠点で「とっとり花回廊」を指定している。この利用も選択肢の一つ。

勝部 大災害時対応の飲用できる防火水槽（60ト

ン級）を逐次、整備してゆく考えはないか。

町長 通常の防火水槽は、年2カ所の計画で国の交付金事業などで行っている。溝口小に飲用適の防火水槽が1基ある。
水道施設の貯水機能なども活用して当面、対応

勝部 消費税2%アップ延期の本町への影響は。

町長 平成29年度の地方財政計画の盛り込み方にかかってくる。臨時財政対策債などの考え方も打ち出されることもあるのではないかと考える。



牛馬繁栄の碑（庁舎入口）



岩屋谷『木野山神事』で無病息災！

岩屋谷自治会

『やっぱり地域の伝統行事は守りたい！』
地元のみなさんが力を合わせて

—— 伝統行事『木野山神事』を守る岩屋谷集落自治会のみなさんにお話しを伺いました。



獅子頭など備品の更新に尽力された前区長 美甘哲郎さん

質問 『木野山神事』はいつごろから、どのような経緯で始まったのでしょうか？

宅野美喜男さん 始まったのは今から150〜200年前の江戸時代。当時、集落内で疫病が発生し、厄払いのため、災害・病気にご利益のある岡山の木野山神社の分祀を集落内の日御碕神社境内に祭り、集落内を神輿と獅子舞が回って厄払いをしたと伝えられています。



神事に詳しい宅野美喜男さん

質問 今もこの伝統行事が引き継がれているのですね？

宅野美喜男さん 年3回、春（4月）、夏（7月）、秋（9月）の夕刻に、地元有志により、集落内を神輿と獅子舞が回り、住民のみなさんの無病息災を祈願します。直近では、来る7月9日（土）に、夏祭行事につき、木野山

神事を実施する予定です。**質問** 今後の抱負を聞かせてください。

宅野美喜男さん 時代の流れとともに、多くあった集落内の伝統行事が消えていきましたが、この『木野山神事』は、今後とも末永く守っていききたい。



木野山神事当日の様子



今年もこれで無病息災

どんなに現代医療が発達しても、心と体の健康への不安は常にみなあります。『木野山神事』は地域のみなさんに日々の暮らしの安心を与える大切な行事だと思えます。取材ご協力ありがとうございました。

編集後記

今回は6月定例会の模様を中心に、議会の動きをお届けいたします。今年も猛暑が厳しく、町民のみなさまも大変かと存じます。

さて、6月定例会では、議案・条例案等審議のほか、一般質問には、7名の議員が登壇。町政全般について、夏の暑さにも負けない、ホットで、活発な議論を展開しました。今後とも、町民のみなさまに議会活動を、より身近に感じていただけるような紙面づくりを心がけてまいります。

（篠原 天）

【編集】

議会広報常任委員会

委員長 杉本 大介

副委員長 乾 裕

委員 篠原 天

委員 勝部 俊徳

委員 一橋 信介

委員 松原 研一

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。